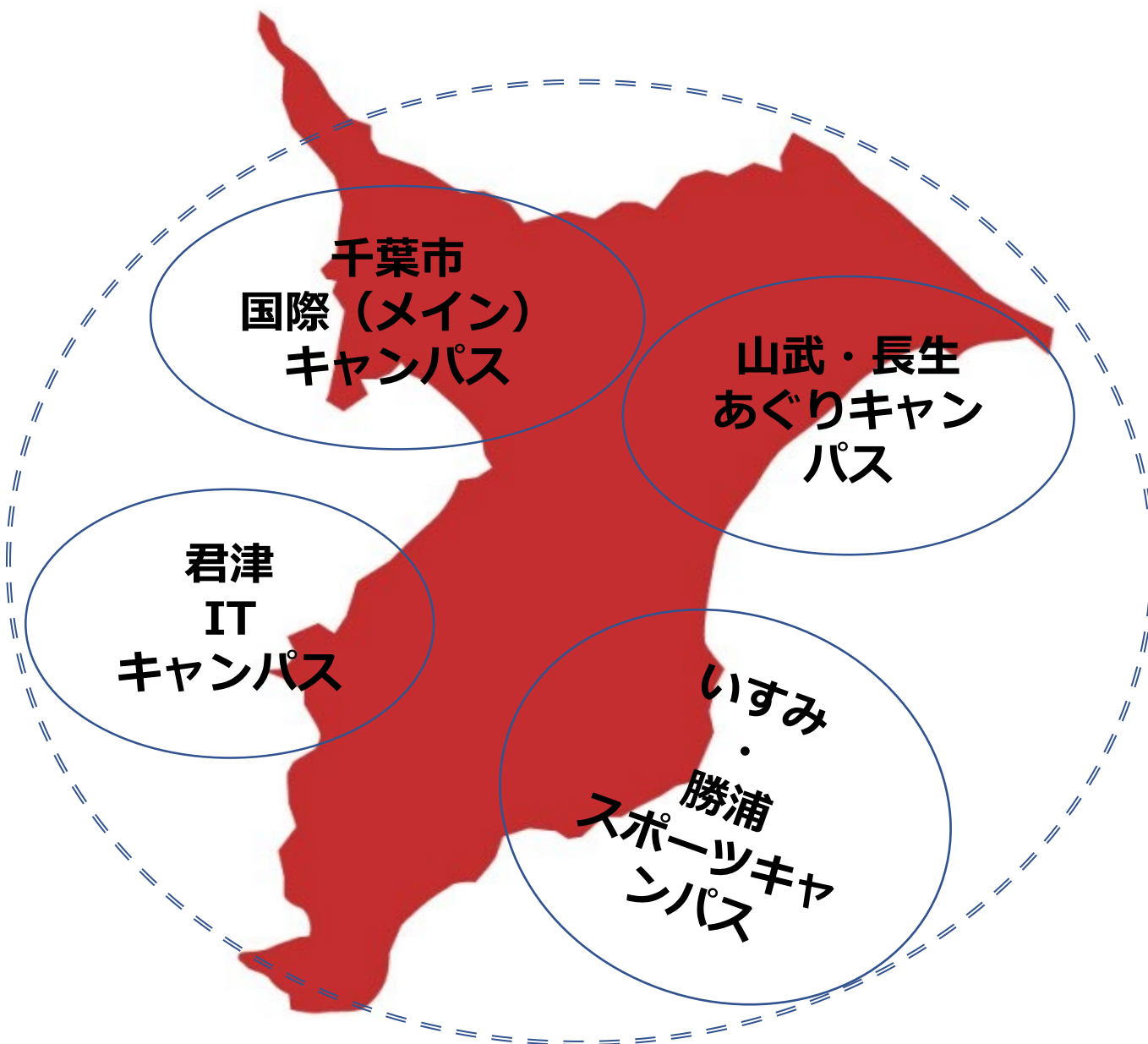


ちば県共創都市圏化 「県」から「圏」へ

D班

ちばで生き活きはたらくスタイルの提案



- 各地域の特色を活かしたワークスタイルの提供
- 自分のスタイルにあった地域ではたらく
- ときにはキャンパス間を移動して、それぞれの特色を体験
- 千葉市は空（成田）から、東京からの人の流れの分岐点となることができる

千葉市 国際キャンパス

千葉市の取組と課題

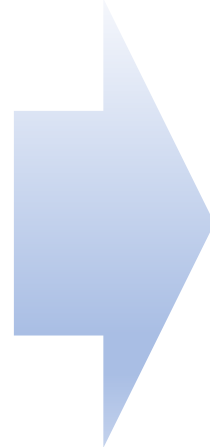
- 2017年「**多文化共生**の街づくり推進指針」を公表
- 外国人は、2017年時点で、千葉市の人口97万人中、**2.4%の約2万3千人**居住
- **20代、30代が全体の46%**
- **永住者が増加（全体の約4割）**

<課題>

- 外国人市民と日本人市民の理解の促進
- 外国人市民の増加による対応の複雑化
- 国際化の推進と多様化への対応

<推進の方向性>

- 全ての外国人市民が、安全・安心に暮らすための必要な支援の充実
- 違いを認め、互いに分かり合い、支え合い、多様性をまちの力にする意識の醸成
- とともに生活を楽しみ、人生をより豊かにする活躍の機会の創出・拡充



しごと・働き方の提案

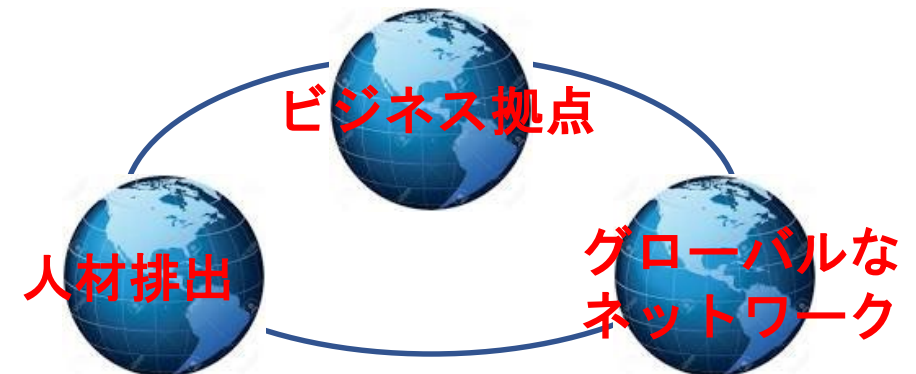
外国人市民と協働する職場環境

- ・ 多国籍な環境
- ・ 共通言語は英語
- ・ コワーキングスペースの活用

国際交流による異文化への理解

- ・ イベント開催
- ・ 中国語・ハンガルなども理解

ちばから世界へ



山武・長生 あぐりキャンパス

山武・長生地域の現状&課題

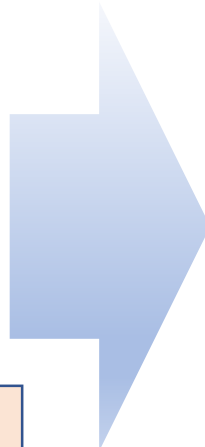
- 水稻やネギのほかメロンやトマトなどのハウス栽培が盛ん
- 山武地域の農業産出額は県全体の10.4%を占め県内第4位

<課題>

- 担い手の減少・高齢化、後継者不足

<現状の施策>

- グリーン・ブルーツーリズムの推進
- 地元農産物を活用した6次産業化の推進
- 新規就農相談窓口の活動強化
- ブランドの確立と販売促進
- 食育による「農」への理解の推進



本格農地型

家庭菜園型

共同農地の設置

共同農地・・・土地の所有者は実際の農家。○○さんの区域はここまで。が集まっている。

・共同農地の運営側（農家）が普段は管理をする。

・休日に借りてる人がお世話しに来る。

・実際に農家から、栽培方法を学ぶ。

・本格農地型では、農業従事者を増やしたい目的。

・家庭菜園型においては、収穫期には、ゴチャゴチャしてる。それもまた良い。それぞれの家庭の特色がでる。

君津・安房 ITキャンパス

君津市の現状&課題

- 東京湾アクアライン/圏央道があり、交通の便が良い
- 君津商工会議所が現在IT推進プロジェクトを主催している

<課題>

- 市東部の地域と君津駅方面を直結する公共交通がなく、また都市計画区域外においては、鉄道またはバスの利用圏以遠の公共交通空白地域が広範に広がるなど、公共交通の利便性が低い地域がみられる

君津市の推進策 1

- IT技術を駆使した交通の不便さの解決を図り、IT×交通の最先端の場所にする

推進策 2

- 一人ひとりが自分だけのキャラクターを作りVR・AR空間でのコミュニケーションが楽しめる環境をつくる→君津内を、世界をつなぐ

推進策 3

- IT企業を、多面的に支援し、同じ思いを持つ場所を見つけられる場所にする

君津市への追加施策提案

ITで君津をつなぐ

無人バス

ドローン

現実空間と仮想空間のデュアル・ライフ

IT企業の起業支援拠点

いすみ・勝浦 スポーツキャンパス

地域の特徴

- 勝浦市に本部を構える**国際武道大学**があり、“地域活動協力”というスポーツ通しての地域貢献を行っている。
- サーフスポットとして有名。特に一宮が有する釣ヶ崎海岸では**東京五輪2020**で会場に。
- いすみ市の“文化とスポーツの森”をはじめ**広大な土地**がある。

<課題&改善案>

- “ロケ誘致”の取り組みをしている。
 - 崩し過ぎず、創り過ぎず、在るものはそのまま
 - 景観価値の保持（いすみ鉄道など）
- 「特急で東京から70分」は長すぎる。
 - 「千葉からなら45分」で県民に売り出す。

新五輪種目である

スケートボード、BMX、ボルダリング、パークール、ダンス、インラインスケート、サーフィンなど

若者を引きつける要素が今後のスポーツにはある。

「ならでは」の提案

「スポーツ in ワークスタイルの概念」

- 休憩時間のフィットネス
- 退勤後にワークアウト
- 通勤スタイルの多様化
 - 自転車、スケボー、etc.
- 広大な土地を利用した“**贅沢なオフィス**”を創る
 - ex. 自分のデスクまで自転車で行ける



global architecture perkins+がデザインしたシカゴオフィス



- 「県」から「圏」への意識を持つことにより地元を好きになってもらう。
- 評価され、興味をもってもらい、県外からも好きになってもらう。
- 千葉市をメインに展開される千葉県の構成。
- 好きになるから働きたくなる。

